



やさしさあふれる さくら学校

さくらだより

新潟市立内野小学校

令和7年5月号



いい風をつくろう

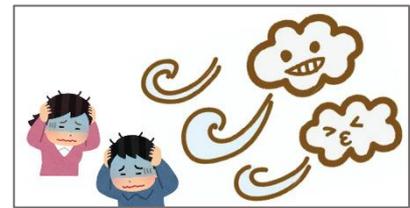
校長 山田 里恵子

5月の全校朝会で、子どもたちと令和7年度の目標を確認しました。内野小学校は、教育目標「うるわしく たくましく」の具現に向け、「やさしさあふれる さくら学校」を目指しています。「やさしさあふれる さくら学校」は「一人ひとりが思いやりの心もち、めあてに向かってがんばる学校」であると考えます。「やさしさあふれる さくら学校」にするために大切なこととして、「いい風をつくろう」の話をしました。

「いい風」とは、人が作り出すもので、言葉、表情、態度、雰囲気、文化、空気感のことです。言葉や雰囲気が穏やかとか、やる気や活気に溢れているとか、互いに助け合い、高め合っている姿などを「いい風が吹いている」「いい風をつくっている」と言います。作るのは、一人ひとりです。子どもたちに「いい風をつくっていますか」「皆さんの周りには、いい風が吹いていますか」と問い掛けました。そして、つくってはいけない風は何かを考えてもらいました。それは、相手や周りのことを考えない風です。自分の言葉や態度で、人に迷惑をかけたり、人を傷つけたりする、そんな自分勝手な風です。そんな風をつくらないために大切なのは、自分のため、相手のため、周りの人たちのためになっているか考えて行動することであることを確認しました。

そして、新年度が始まり、「いい風をつくっている」姿を子どもたちに紹介しました。6年生が、1年生の朝の支度の世話をしたり、校歌を教えたり、ゲームをしたりしてくれました。なかよし班活動が始まり、高学年のリードで、仲良く活動しています。清掃では、6年生が1年生に、優しくやり方を教える姿が見られます。委員会活動で、よりよい学校にするために、高学年が主体的な活動を展開しています。

「やさしさあふれる さくら学校」のフレーズは、子どもたちにも浸透しています。「うるわしく」は「優しさ」「豊かな心」、「たくましく」は「あきらめない心」「負けない心」という意味があると捉えています。教育目標が子どもたちみんなの目標となるよう、「いい風をつくろう」を大切に、子どもが安心して学んだり、自信をもって自己実現したりできるよう教育活動を進めていきたいと考えています。



<さくら祭り>

4月30日(水)に1年生の入学と2~6年生の進級を祝う「さくら祭り」を行いました。今年度は、愛桜会会長様、PTA 会長様、セーフティスタッフの皆様、モンゴルの留学生二名にご参加いただきました。

はじめに、温かい拍手の中、6年生と1年生が手をつなぎ、入場しま



した。6年生は1年生が自分の場所に並ぶまで、見届けてくれました。5年生は、入場アーチを準備し、笑顔で迎えてくれました。

2～6年生の学年紹介では、1年生へのお祝いの気持ちと学年の目指す姿を発表し、それぞれ、進級した意気込みを感じました。特に6年生は、「話をしっかり聞いて」「一生懸命やり切ります」「やさしく声をかけ合います」「なかよし班や委員会 みんなのために頑張ります」「内野小のリーダーとして、全校をぐんぐん引っ張ります」といった、最高学年としての決意を伝えてくれました。

1年生は、6年生が教えてくれた校歌を大きな声で歌い、全校へのお礼の気持ちとさくら学校の一員となった喜びを表現しました。

委員会の子どもたちが中心となり、司会進行、学校クイズ、全校じゃんけん列車などの企画、運営をしました。子どもたちの手で、よりよい学校づくりを進める姿が見られ、今後より一層活動が充実することを期待しています。



<令和7年度大運動会>

5月24日(土)「赤白ともに、全力で楽しんで、思い出に残る 最高に楽しい運動会にしよう!」のスローガンのもと、一人ひとりがめあてをもち、競技、応援、ダンスとカー杯躍動する姿が見られました。開会式では、子どもたちの発案で、「赤白ともに団結するとできる色は?」「(さくら学校の)ピンク!」とコールしました。

運動会当日に向け、高学年の応援団、ダンスリーダーが中心となり、優勝、応援賞を目指し、一生懸命練習に取り組む姿が見られました。素晴らしいのは、赤組も白組も、少しでも質の高い応援、ダンスにするために、検討と練習を重ねたこと、それを各学級に行き、わかりやすく伝えていたことです。どの学級を見ても、応援団やダンスリーダーの指示をよく聞き、動きや声を合わせる姿が見られました。

また、高学年は、運動会の準備にも積極的に取り組みました。自分の役割だけでなく、進んで仕事を見付け、最後まで一生懸命仕事に取り組む姿がとても素晴らしかったです。

4年生は、次年度の高学年として運動会を盛り上げるため、スローガンづくりを頑張りました。



閉会式で、応援団長とダンスキャプテンが、

「勝ち負けはあるけど、今、自分に出せる全力を出したので満足です」「精一杯やったから、全員が主役の最高の運動会になりました」「みんながいたから頑張れました」「みんなと笑顔で楽しくダンスを踊れて最高でした」「相手の応援も素晴らしかったです」と感想を述べました。また、閉会宣言の代表児童が、「笑顔で、全力で、心をついでできた感動」と「保護者の皆さん、地域の皆さん、支えてくれた全ての皆さんに感謝」の気持ちを話しました。代表で話した子どもの多くが「運動会を通して学んだことをこれからの学校生活で活かします」という決意を伝えました。今後、どのように活かしていくかがとても大切になります。

このような高学年の頑張りがあったからこそ、下学年は安心してついていき、力を発揮できたと思います。このリーダーシップは、内野小学校のよき伝統として、これからも脈々と受け継がれていきます。

保護者の皆様、地域の皆様、子どもたちへの温かい応援、運動会の円滑な運営へのご協力、応援席のテント設置等、ご尽力いただきまして感謝申し上げます。これからも、「やさしさあふれる さくら学校」を目指し、「いい風」が吹くよう、教育活動を進めていきたいと考えています。

